

評価の項目	評価（成果・課題を分けて箇条書きで記入）
学校自己評価より	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校経営に関する「学校づくりビジョン」を作成しており、保護者に目指す方向を明示し、説明等行われていることは評価できる。 ・児童の様子を職員会議などの機会を通じ学校全体で共有している点については高く評価できる。 ・今年度より保護者に「子どもの話をよく聞くこと」、「お手伝いをして家庭での役割を持たせること」をお願いし保護者との連携を推進している点は評価できる。また、保護者アンケートからも一定の成果が見られている。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育に関しては児童に対しての伊勢湾台風等を通じた教育、避難訓練など取り組まれているが、地域と連携した防災教育についての取り組み内容については学校のみの問題ではなく町防災部局等との内容の検討が必要と考えられる。 ・「新きそリズムカード」、「子育て8つの指針」に関しては啓発を行っているものの日常的に活用されるよう積極的に啓発していく必要がある。
子どもの評価より	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい学校づくりについては一定の評価が得られており、授業についても一定の評価が得られていることは評価できる。 ・英語に関してJTEによる英語ルームの活用など英語教育の様々な取り組みを行っているが児童からも好評であり、高く評価できる。 ・運動に関しては様々な取り組みを行っており、運動が好きな児童が多くいる。昨年度に続いて、「大縄跳び」など団結力を高める取り組みも行われていることは評価できる。今後は客観的に評価できるデータも蓄積も検討してほしい。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用、インターネットの利用の低年齢化や使用時間の長さが高い比率である。様々な方法で保護者も含めて情報モラルについての教育が必要と考えられる。 ・コミュニケーション能力に関しては子ども達の振り返りでは低い保護者アンケートでは向上している。学校の「話す」ことを意識した取り組みの成果であると思われるが、言葉づかいなども含めて、学校、保護者が一体となった取り組みをしてほしい。
保護者評価より	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の少人数指導（習熟度別学習、T・T）などきめ細やかな指導に対する評価は向上している点は評価できる。 ・ICT機器、タブレットなどが導入されており、保護者からも評価されている。今後、授業への積極的な活用など教職員のスキルを高めてほしい。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習に関しては保護者、児童とも低下しているが、休校の影響も考えられるため注視していく必要がある。 ・読書に関して項目は読書時間に関する評価は低調に推移しているが、児童が読書を楽しいと答える割合は高い。町図書館の活用や読書登山などの取り組みもされているがその方法、評価指標等については検討を要する。

<p>学校運営協議会 関係者評価</p>	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、授業や学校活動の制約があるなか教職員が一丸となって、様々な工夫をしつつ学校運営に取り組んでいる点は高く評価できる。 ・学校全般の運営に関して、教育委員会の策定した学校教育基本方針に基づききめ細やかな指導、学習の機会を実施している点は高く評価できる。 ・JTE、算数非常勤講師、学習支援員、日本語指導など様々な職種を配置しきめ細やかに児童を指導する体制を整えている点は高く評価できる。 ・コロナ禍におけるCS活動の工夫としてメール配信による参加の呼びかけを行っており、活動に結びついている点は評価できる。今後は地域住民への参加を回覧板などで呼びかけることを検討してほしい。 ・教員の働き方改革で行事の選択と精選を推進している点は評価できる。保護者等も理解できる形で引き続き進めていってほしい。 <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報発信として「CSだより」を発行しているが、タイムリーな発行をできるようにしてほしい。 ・保護者アンケートの自由記述欄に書かれた項目に関しては対応のできること、できないもの、認識の相違によるもの様々であるが、対応のできるものから改善を重ねていってほしい。 ・携帯電話やインターネットの問題に関しては学校のみでなく教育委員会、青少年育成町民会議、PTAなどとも連携して進めていってほしい。 ・少子化の進行によりクラス数の減少が進んでいるが、教職員同士の情報交換、相談などによるサポート体制はあるが、1クラスになった学年の職員のサポート体制を整えていってほしい。また、少子化に伴う通学団のあり方については保護者と連携しつつ検討していってほしい。 ・情報発信については各種お便りについては保護者からの評価は高いがホームページに関しては閲覧数も少ない状況にある。原因としては保護者への情報についてはお便り、メール配信で事足りているなど考えられ、対応として写真の掲載や更新を増やすなどあるが、学校としてのCSとしての役割である地域の方への情報発信の方法を引き続き検討してほしい。また、載せる情報については最新の情報としてほしい。 <p>※会議の結果、学校運営協議会として以下の2点を要望する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、スクールカウンセラーの配置など児童のサポート体制を整えてはいるが、児童を取り巻く環境は多様化、複雑化しており、このような課題に対応するため、家庭や学校、友人関係、地域社会など児童が置かれている環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置すること。 2、校内の備品等について校長室の応接セットやカーテンなど耐用年数を大幅に超えて使用している物もあつたり、理科の顕微鏡など整っておらず授業に支障をきたすことも考えられる。備品の計画的な更新や購入を行うこと。 3、JTE、少人数学習指導員、学習支援員、外国籍児童増加に伴う日本語指導員など手厚く職員が配置されており、学校教育にも大きな成果となっているので引き続き現状の職員配置をお願いしたい。
--------------------------	--

※ 欄が不足する場合は、適宜追加すること。